

# 誘引餌を用いたジャンボタニシ管理による椿油粕 低減と水田生態系の保全



## 活動の場所

熊本県・福岡県・三重県桑名市 等  
各地フィールド水田



## 活動目的

農業害虫ジャンボタニシ（スクミリングガイ）の防除に使用される椿油粕（農薬）は水中の魚類・水生昆虫・両生類にも毒性を示し、水田生態系の生物多様性低下要因となっている。誘引餌「ジャンタニコイコイ」でジャンボタニシを集中管理し椿油粕の使用量を削減することで、水田生態系の多様性保全に貢献する。

## 活動内容

誘引餌「ジャンタニコイコイ」を水田内に設置し、ジャンボタニシを特定エリアへ誘引・回収管理する手法を各地フィールドで実証する。

NEDO NEP開拓コース（2024-2025年度）・躍進コース（2026年度）採択技術として、熊本・福岡・三重等の農業者と連携しながら実証試験を継続実施中。椿油粕使用量の削減効果および水生生物多様性への効果を定量的に把握し、農業者・地域への普及・啓発に取り組む。

誘引後、正規の農薬の使用または捕獲器による回収により、農業生産性の向上と生態系保全を同時に実現するアプローチ。

## PRしたいポイント

【キーワード】 環境配慮型農業 生物多様性保全 農薬低減 NEDO採択技術 農業×生態系サービス

農業害虫防除と生物多様性保全を両立する点が最大の特徴。椿油粕（農薬）に依存せず誘引餌による物理的防除で水田生態系へのダメージを根本から削減する。

## 活動効果、今後の展開 等

- 椿油粕散布量の削減により、水田内の魚類・水生昆虫・両生類等の生息環境が改善
- 普及展開により、日本全国の水田生態系保全への貢献を目指す
- 各地フィールドでの実証データを蓄積し、農業者が取り組みやすい防除体系を構築する

株式会社QUINT

（設立直後のため、近日公開予定）